

multilingual translation >

You can get information about
Yonago on your smartphone.



音声読み上げ・多言語翻訳は「カタログポケット」で

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広 報 よなご

5

2026
May
No.254



特集

地域で取り組む孤独・孤立対策

～ひと声がつなぐ安心～



五千石地区
買い物支援ボランティア



福生地区
防災イベント



和田地区
支え愛マップづくり

地域で取り組む孤独・孤立対策

～ひと声がつなぐ安心～

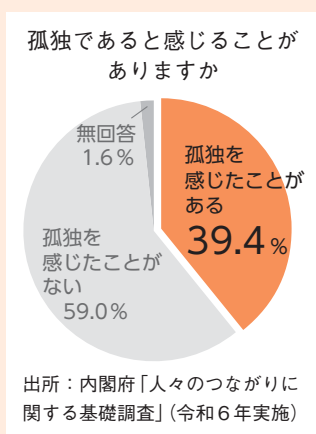


諏訪1区
どんぐりカフェ

困りごとを抱えていても頼れる人がいない、相談できる相手が見つからない——。
望まない「孤独」や「孤立」に悩む人は、決して少なくありません。日々のあいさつやちょっとした声かけ、見守りといった行動が、悩みを抱えた誰かの安心につながることも。
きっとあなたに、できることがあります。気づいたことがあればご相談ください。
☎ 福祉政策課 (☎ 21-8428)

災害や病気など、突然困りごとに直面することは、特別なことではありません。日頃から、身近で顔の見える関係やつながりを築いておくことは、自分を理解してくれる人を増やすことにもつながります。こうしたつながりは、孤独や孤立の予防にも役立ちます。

地域で顔の見える関係づくりを



単身世帯の増加やライフスタイルの多様化など、社会の変化により、人と人のつながりが薄れつつあり、現代は誰もが孤独や孤立を抱えやすい状況にあります。内閣府が行った調査によると、「孤独を感じたことがある」と答えた人は約4割にのぼり、孤独や孤立に悩む人が少なくないことが分かります。

誰もが感じるかもしれない孤独や孤立

地域のつながりづくりに取り組む方にお話を聞きました

何かあったときに「助けて」と言える雰囲気を



諏訪1区自治会
生田 仁史 さん

地区の住民が集う「どんぐりカフェ」

3年ほど前から、地区の住民が月に1回気軽に集まれる場として、地域サロン「どんぐりカフェ」を始めました。きっかけは、昔と比べてご近所さんとお会いする機会が減ったこと。高齢者が多い地域なので、顔を合わせておしゃべりする機会が必要だと感じました。

声をかけ合える関係を作りたい

災害時、頼りになるのはご近所さん。何かあったときに「助けて」と言える雰囲気づくりを日頃から大切にしたいと考えています。人生全体で見ると定年後に地域で過ごす時間は意外と長いもの。誰かへの「恩送り」の気持ちで無理なく楽しみながら続けていきたいです。



▲月1回のどんぐりカフェ。この日は集会所の障子を張り替えた後、お茶を囲んで団らん



米子市社会福祉協議会
福祉のまちづくり推進課の皆さん

☎ 米子市社会福祉協議会 (☎ 23-5473)

顔見知りを作っておくことをおすすめします

安心して暮らせるまちに

子どもや高齢者、障がいのある方など、誰もが安心して暮らせるまちをめざし、地域での支え合いやつながりづくりを支援しています。具体的には、住民同士の見守りや居場所づくりの活動支援のほか、各地区で福祉のまちづくりについて話し合う場のお手伝い、福祉に関する研修会などを行っています。

気軽に相談してほしい

孤独や孤立は、私たちの身近にあります。家庭や職場、学校や地域、サークル活動など、どのような形でもいいので、近くの人と顔見知りになっておくことは大切だと感じます。困ったときは「こんなことを相談してもいいのかな」と思わずに、お気軽にご相談いただけたらと思います。

Information

5月は「孤独・孤立対策強化月間」です

孤独や孤立を感じて悩んでいる人は少なくありません。ちょっとした気づきや、温かなひと言が、身近な誰かの支えになるかもしれません。

例えば、こんなことから始めてみませんか？

変化に気づく



声をかける



相談先につなぐ



福祉の問題でお困りの方へ

どこに相談したらいいかわからない福祉の困りごとは、米子市ふれあいの里総合相談支援センター「えしこに」へご相談ください。皆さんの悩みを、えしこに(いい具合に)支援します。

☎ えしこに
(☎ 21-8428)

